

県民との協働による都市に残された  
貴重な谷戸環境の保全と活用、次世代への継承

# 県立座間谷戸山公園 平成25年度 実績報告書



公益財団法人 神奈川県公園協会

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

区分	事業計画書の内容		実施計画						平成25年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26				
1 施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針											補足資料 ページ番号	
県民との協働による里山の自然環境の保全		県民や市民団体との協働、関連機関との連携による環境や生物のモニタリングと保全活動の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	運営会議参加団体等と協働・連携し、ホタル生息数調査や生息環境整備、カエルの卵塊調査や生息環境整備など、モニタリングや保全活動を行った。	運営会議団体と協働しての継続的なデータ蓄積や保全活動を行う。	1～6
		座間谷戸山公園運営会議やボランティアによる里山保全管理活動のサポート	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	ホタルの生息環境保全、谷戸田の管理、外来生物の駆除等の活動のサポートや協働を行った。また、ビオトープ研修生等と皆伐区のモニタリングや保育管理を進めた。	サポートを継続し、運営会議やボランティアとともに里山環境の向上を目指す。	1～6
		運営管理マニュアルに基づいたエリア毎の管理運営の推進	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	運営管理マニュアルに定めた各エリアの課題と現状の改善に向けた試行や維持管理を推進した。	エリア毎に環境変化などを見守りながら、管理マニュアルに基づく適切な維持管理方法について検討していく。	5～6
豊かな自然環境を活かした絆の育成		豊かな自然環境を管理保全、発信し、次世代に残す人材の育成	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	年間80回を超える多彩な公園イベントと里山の自然環境保全活動を通じ、環境保全とその発信、人材育成を図った。	引き続きイベントを実施していくとともに、新たな企画等についても検討する。	7～9
		里山の環境、暮らし、文化を体験し、学ぶ機会と場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	昔ながらの米作り体験「親子米作り隊」、樹林地等の手入れ活動「里山保全隊」、里山文化体験を中心とした「やとやま講座」を主催し、里山体験の場を提供した。	里山を体験できるイベント等の企画を検討する。	7～9
		イベントやボランティア活動への参加を通じたコミュニケーションの場づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	園内の環境保全活動等のまとめ役である「運営会議」の事務局として、交流・意見交換の場を運営したほか、「公園まつり」や「水の生き物みつけ隊」など団体同士が協働で取り組むイベントの開催によりコミュニケーションの場を作った。	継続的なイベント開催に加え、新たなコミュニケーションの場の提供を検討していく。	7～9
利用と保全のバランスのとれた魅力ある公園づくり		都市公園としての適切な維持管理や安全管理、利用促進の推進	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	広場を中心とした草刈りや樹木の剪定と伐採など、適切な管理を行いながらも、発生材はカントリーヘッジや看板類に活用して生物生息環境の創出やゼロエミッション対策を行い、利用と保全のバランスをとった。「市民レクリエーション」等の大きな行事についても、自然等への配慮の上で受け入れ、利用促進を図った。	引き続き自然環境保全に配慮しながら、安全管理などを行っていく。	10～12
		バリアフリーや健康に配慮した公園づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	園路や木道については、滑り止めテープの貼り替えや注意看板の設置・更新、段差箇所補修により、安全利用やバリアフリーに努めた。	引き続き実施する。	12
		観察林や田んぼ、里山体験館などを活用し、里山の魅力を学び、楽しめるプログラムの開発	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	やとやま講座を開催し森、小川、池などを活用して里山の魅力を学習した。	やとやま講座は内容を検討し、引き続き実施を図る。	7
		公園の将来像を見据えた自然環境の保全と都市公園としての利用バランスの維持	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	里山保全隊を中心に適正な里山林の手入れに努め、明るく安心して歩ける園内作りを行った。	引き続き実施する。	8
利用者の平等な利用の確保		年齢・体力・障害などに関わらず平等な利用を検討し改善に繋げる。	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	障害者車両の駐車スペース確保、バリアフリー対応など平等利用に努めた。	様々な利用に対応し、平等利用を進めていく。	12
利用者や地域住民等に配慮した管理運営		利用者からの声を受け止め、反映し、信頼される管理運営	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	常設のアンケート箱や年2回の満足度調査により、利用者の声を集め、管理運営に反映させた。	利用者からの声を大切にして管理運営につなげていく。	
環境に配慮した管理運営		省エネルギー対策： 節電・節水・アイドリングストップ等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	節電実行計画に即し、施設の照明や空調の間引き、井戸ポンプ運転短縮等を励行した。	省エネ対策に努める。	
		ゼロエミッション対策： 落ち葉の堆肥化・グリーン購入・ゴミの分別処理等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	落ち葉の堆肥化とイベント等での有効利用、ゴミの分別処理・回収等を実施した。犬の糞マナー向上看板の掲示を継続した。	園内発生植物等は堆肥化、樹木看板、注意看板など無駄なく利用し、新たな利用法も検討していく。ゴミの分別等は継続して行っていく。	10
		環境教育： 自然観察会などの体験活動実施・PR活動	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	自然観察会、ネイチャーゲーム、やとやま講座、中学校職場体験での樹林活動などを通じて普及啓発に努めた。	多くのイベント等を通して普及啓発に努める。	7、24

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

区分	事業計画書の内容 提案項目 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画						平成25年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
		H21	H22	H23	H24	H25	H26			
2 本公園の管理に向けた参加意欲及び抱負等										
本公園への認識の深さと熱意を持った谷戸環境の持続的な保全	希少な動植物の把握と保護・保全	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	継続実施	希少な動植物は「谷戸山指標生物リスト」として運営会議で生息確認し共有した。また、各団体と連携して生物モニタリングデータも蓄積した。	環境の変化に注意を払いながら、モニタリングなど情報の蓄積を継続し、保護・保全に活用していく。	1～6
	生物多様性への認識と運営会議、利用者との協働による保全	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	運営会議では、各団体の活動する多様な園内エリアの状況報告や管理方法の検討などを共有し認識した。また、その内容を毎月「運営会議ニュース」で利用者へ発信し、ホテルやカエルの生息環境保全活動や谷戸田の整備活動といった継続活動に加え、ザリガニ調査など突発的な活動についても、広報や道具貸し出しなどのサポートを	情報共有と保全を進める。	1～3
	園内の自然環境や動植物の保全・保護活動を行う 県民、市民団体との協働、サポート	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	常設アンケート、年2回の満足度調査、メール、口頭など様々な形で要望・苦情の把握に努め、その都度利用調整を行った。自転車乗入禁止や徐行、犬の糞マナー向上看板設置と月別集計結果報告により利用マナー向上に努	引き続き積極的にサポートをしていく。	1～3
	多様な公園利用ニーズの把握と利用調整	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	観察できる場所にある樹木等は、できるだけ樹名板等を設置し、観察を促進した。	ジョギング、飼い犬、禁煙、自転車乗り入れ等に対する一般利用者との利用調整は継続して行い、マナーアップを図っていく。	10
保全と利用のバランスを図りながらの公園の活性化	「自然生態観察公園」としての利用にも配慮した管理運営	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	座間市立図書館と連携した「森のおはなし会」で森の学校を利用した。	引き続きの実施や新たなサービスの提供を検討する。	7
	都市公園としての様々な利用形態に対応した新たなサービスの提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	昆虫ウォッチングやお飾り作り教室でパークセンターを活用し、里山体験館(佃伊裏)を昔話の語りイベントで活用した。ログハウスは休憩等の利用や写真展示のスペースとして活用した。	今後もプログラム内容の充実を図る。	7、11
	様々なイベント、プログラムの展開によるパークセンターや里山体験館、ログハウスの利活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	大学生やビオトープ研修生の研究・研修の場として樹林地等を活用した。	研修場作りや人材育成について活用を図る。	4
	人材育成の場として研修会場等としての活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施			
3 本公園における特性と課題を踏まえた維持管理の考え方										
本公園の特性と課題を踏まえた維持管理	運営管理マニュアルに基づく、植生タイプに応じた維持管理	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	継続実施	昆虫の森やクスギコナラ観察林等において、里山保全隊ボランティアとの協働で積極的な管理を実施した。水田では、お飾り教室で使う青田刈り稲の栽培を行った。	環境・生物モニタリング結果を見ながら、目標環境に向けた維持管理を継続していく。また、樹林地整備について、県へ実施要望するとともに、協会としても取り組みを検討する。	8、11
生物モニタリングからデータの蓄積、維持管理への反映までの一連のシステムの確立	市民団体と協働した生物のモニタリング調査の継続	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	市民団体と協働し、ホテル発生数やカエル産卵数などのモニタリングを継続した。ウシガエル等の外来種については「水の生き物みつけ隊」のイベントの一環として調査を行った。	運営会議団体と協働して継続的にデータを蓄積し、維持管理に反映していく。	1～7
	公園管理システムを活用した電子データによる蓄積の継続	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	貴重な植物の位置情報や生物モニタリングデータをはじめとしたデータの蓄積に努めた。	継続的なデータの蓄積により、変化する自然環境を把握していく。	1～6
	蓄積データを反映させた生物に配慮した維持管理を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	位置データを基に、植物自生地等に配慮しながら里山保全隊作業や直営による管理作業を行った。	新たな場所に生えてくる植物や野鳥の営巣地など、データを確認しながら維持管理に役立てる。	5～8
ボランティアとの協働による効果的な維持管理	里山保全ボランティア「里山保全隊」による雑木林管理等の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	継続実施	里山保全推進のため、これまで未実施のエリアにまで範囲を広げ、11～3月は活動日を月2回とし、手入れを積極的に進めた。	積極的な手入れを継続する。	8
効率的・効果的な維持管理のための取組み	集約発注や公募型提案方式による業者選定、季節に対応した柔軟な人事配置	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	集約発注や集約公募により経費節減に取り組んだ。	効率的な維持管理に取り組んでいく。	
ゼロエミッションへの取組みによる植物管理	カントリーヘッジとして生物の生息空間の創出	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	維持管理等での発生材はカントリーヘッジとして園路沿い等に積上げ、生物のすみかを創出した。木口を見せる整列積み等で景観に配慮した。	景観に配慮したカントリーヘッジ作りを継続する。	11
	枯損木・剪定枝のチップ化、落ち葉・植物ごみの堆肥化	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	落ち葉や植物ごみは堆肥化し花壇等に利用した。	有効利用を継続する。	11
	除伐や間伐の発生材の薪やテーブル、イス等への活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画以上実施	継続実施	発生材は、直営でベンチや看板類に最大限加工し、老朽箇所の改善や利用者サービス向上に努めた。また、杭に加工してホテル保全活動用に提供し、しいたけの原木にも利用した。薪は公園まつりや中学生の職場体験などで利用した。	今後も有効活用していく。	10～11

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

区分	事業計画書の内容 提案項目 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画						平成25年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
		H21	H22	H23	H24	H25	H26				
5 執行体制の内容											
	本部と現地の役割分担	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	日常の連絡調整や定例の園長会議等の開催により、公園管理事務所と協会本部が連携を図り、適切な管理運営業務を実施した。	PDCAシステム会議や外部特別指導員等による業務点検など、協会全体で実施する事業も引続き取り入れ、本部と調整を図りながらコスト削減に努め、効率的・効果的な管理運営を遂行していく。		
	現地の職員配置	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	統括責任者としての園長の下、スタッフが一体となって管理運営業務を遂行した。	園長を統括責任者としたスタッフ体制により組織の円滑な推進を図っていく。		
	業務の一部委託	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	園内警備業務や清掃業務、高木伐採等を外部委託により実施した。	公園協会の規程に基づく委託業者選定・チェック・指導監督を適切に行い、安全で効果的な委託業務の実施に努めていく。		
6 緊急時の体制											
	事故や災害発生時などの緊急時の体制及び初期対応	事件、事故発生の場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	職員が迅速に現地確認・対応を行い、関係機関への連絡と現地処理などを行った。	今後も迅速な対応を行っていく。	
		大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生が予測される場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	台風の接近の際などは、インターネットやTVから情報を収集し、状況の把握を行った。	いち早い情報の収集に努める。	
		大雨、暴風、落雷、大雪等による災害が発生した場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	県や協会本部への報告とともに、被害木の処理、園路の除雪や通行止めなどの対応を迅速に行った。	今後も気象災害後の迅速対応を維持していく。	
		大地震が発生した場合	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	震災に備え、座間市水道事業管理者の指導のもと、座間市と協働で東口貯水槽の稼働点検研修を実施した。	大地震に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
	災害時に備えた日常対応	朝礼やミーティングを通じて日常より情報の共有、意識の統一	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	毎朝の朝礼や、月1回のスタッフ全員のミーティングを通じて情報の共有、意識統一を図った。	日常からスタッフ間の情報伝達、意識統一を図る。	1 2
		管理事務所内へのAEDの常備	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	継続実施	パークセンター、里山体験館にAEDを常設し、定期点検により緊急に備えた。	引き続きAEDを常設するとともに、点検等を行っていく。	
		防災訓練、救命講習の年1回以上の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	上級救命講習を受講した。	未受講職員等を中心に、救命技術のレベルアップを図る。	
		防災設備の定期稼働点検	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	消火器や防災井戸の点検のほか、座間市水道事業管理者の指導のもと、座間市と協働で東口貯水槽の稼働点検研修を実施した。	点検を継続して行っていく。	
7 人材の育成計画											
	公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての考え方(方針)	技術力と機動性のあるマルチスタッフの育成	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・研修プログラムを、5年間の方針に基づき適宜実施し、更なる内容の充実を図った。具体的実施内容は以下のとおり。 ◆グリーンサポート事業 樹木、花卉園芸、公園管理運営の各分野を専門とする3名のグリーンサポート特別指導員が、第三者的視点による公園の巡回点検や技術指導を行った。 ◆PDCAチェックシステム 半期ごとにPDCAチェック会議を行い職員間で事業計画の確認、確実実施、履行確認を行った。また、外部評価員による評価を実施し、その中から改善点を見出し、改善目標の設定と改善への取り組みを行うことで、意識改革と資質向上、管理水準の維持ならびに向上に努めた。	・私たちのノウハウでもある、 ①「公の心」を育み、愛される質の高い公園づくり ②かながわの郷土愛の醸成、新しい喜びの公園づくり ③人と地域とともに育つ公園づくり ④多様な生物が育む資源循環型の公園づくり これらをさらに強化するよう、現在の研修プログラムを見直し内容の充実、PDCAによる公園の品質管理の向上、また時代のニーズに沿う柔軟な発想での新たな研修プログラムの導入により、職員の資質向上を図るとともに、研修方針の実現に努めていく。	
		外部評価員による職員教育と自己評価による資質向上	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	応募時に提案した新規研修「苦情対応研修」「ボランティアコーディネーター研修」を実施した。また「苦情対応ロールプレイ研修」「ミーティング実施」に関しては継続して行っている。		
		新たな研修プログラムの導入	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・毎日の朝礼等により、公園行事等利用確認、作業の安全確認、伝達事項等、園内情報の共有を行うとともに、挨拶唱和を実施した。また、コンシェルジュリーダーを配置し、より気持ちの良い接遇の日常化を目指した。 ・本部の接遇担当職員により、新規採用者等の接遇研修(挨拶・会話等の教育指導)を実施し、より質の高い意識と接客対応を目指した。 協会本部の接遇担当職員による接遇・苦情対応研修を全職員に対して実施し、接遇向上に取り組んだ。		
		接遇研修の実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・確実で迅速な事務処理を実施するため、本部職員による事務処理研修、担当者会議(副園長会議、担当者会議等)を行った。		・今後も継続して朝礼を実施し、気持ちの良い接遇対応の徹底を図るとともに、利用者への対応で提案している、「パークコンシェルジュ」を目指す。また、ロールプレイの継続実施により、的確な初期対応を確立する。
	事務処理研修の実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施		・業務の効率化及び事故防止の観点から、今後も定期的実施する。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

事業計画書の内容		実施計画						平成25年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)								
		H21	H22	H23	H24	H25	H26			
公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての具体的な計画	安全管理研修の実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・個人情報取扱いについては、個人情報取扱い研修において周知徹底を図った。	・引続き、説明会や勉強会を実施して個人情報の取扱いについての意識の醸成を図る。	1 3
		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	震災に備え、座間市水道事業管理者の指導のもと、座間市と協働で東口貯水槽の稼働点検研修を実施した。	・発災時の的確な行動の担保及び、二次災害等防止のための訓練を実施する。	
		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・当協会全体講習として、新規職員、資格更新職員を対象に上級救命講習を実施し、応急処置・AEDの取扱方法等を受講した。	・今後も継続的に受講し、職員の知識、技術を一定レベルに保つ。	
		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	外部機関による刈払機、チェーンソー、丸のこの安全衛生教育、特別教育を職員が受講した。	・スタッフの入替え等必要に応じ、民間技術教室での安全教育を受講し、職員の労働安全を確保する。	
		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・刈払機におけるナイロンコードの危険性を研修し、事故防止に努めた。 ・公園における事故と裁判事例について研修し、維持管理上の事故防止意識向上に努めた。	・危険予知活動（KYT）を定常的に実施し、労働災害・事故ゼロを目指す。	
	植物管理研修の実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・当協会の花生産ハウスと花菜ガーデンにおいて、花の育成と植付等に関する研修を行った。 ・県農業技術センター主催の防除関係者講習会を関係職員が受講した。	・安全でより良い景観づくりを目指し、次年度以降も研修を継続していく。	
		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	樹木剪定や伐採について職員研修を行った。	継続する。	
	公園マネジメント研修の実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・(一財)公園財団や(一社)日本公園緑地協会主催の講習会、全国公園協会協議会等に職員を参加させ、情報の共有及び公園への伝達により効果的効率的な公園の管理運営を実施した。	・職員のスキルアップとして次年度以降も定期的な受講し、より効果的、効率的な公園の運営管理の参考としていく。	
		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・園長が主体となり、所属職員の意識改革及び業務確認、ならびに安全確認、進捗状況の確認を目的としたミーティング（全体会議）を月例で実施した。 ・公園の利用促進を図るため、利用促進担当者会議を行って意識を共有した。 ・工作や日本文化等に関して豊富な知識をもつ本部担当職員が、適宜指導を行った。	・今後も、所属職員に公園管理運営方針と実施方法等を浸透させ、提案事項の確実実施を目指す。 ・より具体的な手法を学ぶための研修を実施していく。	
	利用促進研修の実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	・園内会議の際に、職員の生物への知識向上と園内生物の把握を図るための「エコアップ研修」を行った。	引き続き実施し、知識向上等を図る。	
	公園独自研修の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施			
	9 公園の安全管理									
園内施設全般の安全管理方策	各種施設点検の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	日常巡視による施設点検や施設点検パトロールを行い、安全確保に努めた。	点検を継続しながら、施設の経年変化に合わせ点検内容・項目を随時更新していく。	
	各種マニュアルの活用と整備	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	公園管理マニュアル等を活用し施設の安全管理に努めた。	各種マニュアルの活用と必要に応じて整備、修正を図っていく。	
	点検と連動した速やかな施設修繕の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	日常点検等により発見した施設の老朽箇所などは速やかに修繕を行った。	重点的な施設点検と速やかな修繕を行っていく。	
	施設賠償責任保険への加入	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	施設賠償責任保険への加入をしている。	継続していく。	
主な施設の安全管理方策	樹林地の重点パトロール実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	園路周辺は、倒木等事故防止のため重点的・優先的にパトロールと伐採処理等を実施した。	枯木や老木の発見のため重点的にパトロールを行う。	1 2
	火災防止のための草地の冬季刈込み実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	運営会議で時期・方法を検討して生物の生息環境に配慮しながら、野鳥の原っぱや休耕田の冬季刈込みを実施した。	生き物の生息状況をみながら、作業時期、作業範囲等を検討する。	5
	木道の転落・スリップ防止のための重点点検・清掃の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	重点点検の他、スリップ防止看板の設置、落葉期や強風後の落葉等の除去、除雪作業等を行った。	経年変化による老朽化に注意を払いながら点検・清掃を行っていく。特にスリップ防止テープの破損には注意を払う。	1 2
	「つまづき」、転倒、転落防止のための重点点検の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	園路のぐらついた縁石の接着固定、階段部で腐った丸太の補修、段差か所の注意喚起を行った。また、ベンチの汚れ除去も積極的に行った。	利用頻度の高い場所や急な階段部などは重点的に点検していく。	1 2
	建物施設の防火・防犯対策の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	施設の夜間警備システム等により対策を実施するとともに重要物品はカギかけ保管を行った。	継続して行っていく。	
	広場の植栽木の枯枝防止・不陸点検	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	日常巡視による枯枝点検、強風後の確認を行い枯れ枝等は速やかに除去した。また、大雨等による園路浸食はその都度補修した。	利用頻度の高い広場、大雨による浸食か所などは重点的に点検・防止に努める。	1 2

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

区分	事業計画書の内容		実施計画						平成25年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26			
	施設運営面での安全管理方策	作業スタッフの安全確保	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	K・Y・Tトレーニングの導入により、事前の危険予知の把握などに努め、安全を確保した。また、他公園の事故報告などは職員全員に周知し注意喚起した。	引き続きK・Y・Tを行うとともに、情報の共有化を図る。	
		利用者に対する安全確保	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	園路周辺での作業中には、バリケードや職員配置により立入禁止措置をとり、休日は機械工具の使用を控えるなど安全に配慮した。	継続して行っていく。	
		ボランティア活動における安全確保	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	公園行事を含めボランティア活動においては、事前研修等で安全に十分配慮し、ボランティア保険への加入を推進するなどの対策をとった。里山保全隊等では安全ヘルメットの着用を徹底し、安心・安全なイベント実施に努	継続して行っていく。	8
	防犯対策の実施	昼間の防犯対策： 利用者との連絡体制の確保・維持管理上の配慮・地域との連携・年末年始の防犯体制の確保	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	年末年始の警備員への説明会、職員の自宅待機等により防犯対策を図った。	特別警備を通じて警察との連携が強化されたので今後も継続して行っていく。	
		夜間の防犯体制： 警備業者による園内巡回警備・警備業者への指導、連絡体制の徹底	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	警備業者による園内巡回警備と連絡体制の徹底を図った。	連携体制の維持、強化を図り防犯対策をとる。	
10 利用者への対応											
	接遇対応及びその研修等	改善に向けた取り組み： 朝礼でのあいさつ唱和・内部研修等による公園及びその周辺情報の取得・特別指導員による接遇研修と接客対応評価指導	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	毎朝の挨拶唱和と園内での利用者への挨拶や会話などの心を込めた接客を徹底した。	来園者と親しみの持てる関係作りのため、気持ち良い挨拶を心がける。	1 2
	苦情処理の対応及びその研修等	苦情・要望の記録と土木事務所への報告	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	アンケートボックスや直接の意見・要望等は月毎に集計し土木事務所へ報告し必要に応じ改善を図った。寄せられた意見に対しては、回答を掲示して対応した。	継続的な苦情・意見等の把握と改善を図っていく。	1 2
		公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムを構築	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	苦情の処理はファイルメーカーによるデータベース化に取り組み、対応方策について職場会議等で議論し意識の共有化を図った。	今後も、利用者サービス向上のため、研修等を通じて人材の育成を図る。職員全員が情報を共有化し意識を高めていく。	
		苦情対応のロールプレイング研修の実施や他の公園職員との合同勉強会の開催	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	ロールプレイング方式による研修を実施した。	他の公園と共通するものは、情報の共有化、対応の共通化を図る。	
	利用者への公園利用指導及びその研修等	パンフレットやウェブサイトによる、親切丁寧な有料施設等の受付案内	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	継続実施	公園HP用に「もちこみイベント」や利用申込書のバナーを職員が制作・設置し、利用案内を強化した。	今後も、わかりやすい写真や最新情報を取り入れる。	2 3
		関係法令やルールに関わる内部研修の実施や、他公園との合同勉強会による事例と情報の共有	調整中	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	他公園の事例を参考にした糞マナー向上看板の設置と月別結果報告を継続し、利用者へPRした。	今後も、公園の課題に応じた研修を検討する。	1 1
利用者ニーズの把握と反映	日々のコミュニケーションや電話、手紙、メール、アンケート等による意見の把握と反映、改善	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	管理事務所に常設のアンケートボックスや利用者満足度調査、窓口への直接意見などを通じて利用者の意見・要望の把握を行った。要望等は全職員で共有し、改善に努	引き続きに把握と対応を図っていく。	1 2	
	外部評価による評価と業務改善	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	半期ごとの「PDCAシステム会議」などのPDCAサイクルにより、取り組みの現状評価と改善実施に努めた。	PDCAシステムを継続し、業務改善・向上に努める。		
11 利用促進方策											
	谷戸の自然や里山の暮らし、文化に触れ、学ぶことのできるイベントの継続開催	親子で米作り隊、クラフト教室、ネイチャーゲーム、手作り灯り展、谷戸山公園まつり、谷戸山写真展、巣箱作り教室、お飾り作り、自然観察会、バードウォッチング、里山保全隊、花植えたい	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	計画通り実施	継続実施	「谷戸山公園まつり」をはじめ、米作り隊やバードウォッチングなど多彩なイベントの実施により利用促進を図った。冬期には、里山保全隊の活動を月2回実施し、里山の手入れを推進した。もちこみイベントの募集を開始し、ネイチャーゲームなど2つのイベントを共催	継続して行っていく。	7～9
	新たな利用促進方策	自然環境や生き物、里山文化への探究心を深める場の提供： ・みちくさ広場の利用拡大	調整中	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	みちくさ広場で一部草刈り時期を変えて刈り残し、昆虫ウォッチングのイベントで昆虫観察等を行った。	・みちくさ広場での苗育成やイベント利用等を図る。 ・やとやま講座は今後も内容を工夫して継続する。	7
		誰もが里山の自然を楽しめる場への取組み： ・「森の遊び場」の創出	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	森の学校をネイチャーゲームや「森のおはなし会」の会場として利用した。	継続して利用を図る。	7

指定管理者管理運営実施状況表

公園名：座間谷戸山公園

区分	事業計画書の内容 提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画						平成25年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
			H21	H22	H23	H24	H25	H26			
利用促進のための広報		閑散期の園内施設の有効活用： ・ヒマワリによる夏期利用の促進 ・石窯等を活用した冬期イベントの開催	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	継続実施	「花植えたい」行事活動により、東口広場花壇にひまわり、マリーゴールド、スイセン等多彩な花を育てた。 ・囲炉裏でのお話会で冬期利用を促進した。ピザ焼きの石窯を直営で改修し、使いやすさを向上した。	継続して利用を図る。	7、15
		公園協会独自の広報： ホームページ・公園だより・ポスター・パンフレットなど	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	◆公園協会広報の活用： ・公園協会HP花とみどりの情報サイト運営（紅葉情報等） ・季節情報誌かながわパークナビ発行（9月・3月） ・県立公園フォトコンテストと写真展開催 ◆公園独自の広報 ・各種パンフレットを改良印刷 ・ホームページの自然情報等の定期的更新 ・各イベントのポスター、チラシを工夫して作成	今後も、工夫改良して継続する。	15～21
		市の広報への掲載依頼	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	座間市立図書館と共催の森のおはなし会、語りのまつりといったイベントにおいて広報を行った。	継続して掲載を依頼していく。	7
		関係機関と連携した広報： 近隣施設・教育機関・交通機関	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	継続実施	座間市公民館・文化センター・図書館と、イベント広報を連携した。「谷戸山公園まつり」については広報を強化し、ポスターを座間駅と相武台前駅に依頼し掲載された。座間市と連携し、里山林の手入れ状況について講演会発表を2回行い、積極的な広報活動を行った。	公園への誘客を図る。	23
		メディアの活用： 新聞・ミニコミ誌・テレビ・ラジオ	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	公園協会全体でタウンニュース社へのイベント募集記事の掲載委託により年間を通じて広報を行った。	継続して掲載を依頼していく。	20
12 自主事業の運営											
	自動販売機の設置	利用者の利便性と景観等に配慮した自動販売機の設置	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	東口広場、多目的広場、里山体験館横に自動販売機を設置し、利用者に継続提供した。	継続して提供していく。	
13 地域や関係機関との連携											
県民及び住民参加、ボランティア団体との協働		座間谷戸山公園運営会議との協働	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	運営会議との協働を事務局として取りまとめ、生物モニタリングや環境保全を進めた。	モニタリングデータ蓄積などの協働を継続していく。	1～6
		協働の具体的な取り組み	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	ホテル生息数調査・環境整備、カエル類産卵調査・環境整備、外来生物駆除等の協働を継続した。	継続的なモニタリングを行う。特に、樹林地整備地区のモニタリング及び保全活動について重点的に行う。	1～6
地域への貢献		地域の活性化： ・地域イベント、市民活動発表の場 ・収穫物の地域イベントでの活用	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	公園一大イベント「谷戸山公園まつり」の他、地域自治会による市民レクリエーション等の大規模イベント、また、ウォーキングや清掃活動といった小規模イベントまで市民活動の場として幅広く利用された。田んぼで収穫したもち米は公園まつりで活用したほか、福祉団体等へ無償配付し地域へ貢献した。	地域イベントの開催などを支援するとともにもち米の配付等も継続する。	9～10
		市民活動の支援： 自然環境保全活動のサポートなど	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	ホテルの生息環境保全に使う水路用の杭を、発生材利用で直営制作し、提供した。南谷戸田管理を市民団体が継続的に行っており、道具提供等のサポートを行った。	積極的なサポートを図る。	1、3、11
		地域の雇用創出	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	地元の座間、大和、海老名市在住者の雇用に努め、委託業務についても地元業者を基本とした。	地域雇用を継続していく。	
		教育活動への協力： ・体験学習の受け入れ ・調査実習や研究活動の場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画以上実施	継続実施	相模中学校、座間中学校等の職場体験を受け入れ、森の手入れ等の実地研修を行い、体験学習プログラムの充実化を図った。園内の概要や自然の説明・案内依頼については、随時、職員が積極的に対応した。町田市立小学校の校外学習を市民団体と協働で実施した。	体験学習や学術研究などの教育活動の推進を継続する。	24～25
関係機関（対象管内の他の公園や周辺施設等）との連携		自然環境保全のための連携： 近隣の里山型公園や自然公園ビジターセンター、専門機関との連携	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	泉の森発行誌、自然公園からの定期自然情報の掲示等により連携した。園内傷病鳥獣に関し専門機関と連携した。	今後も連携を図る。	25
		周辺公共施設との連携	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	座間市の北地区文化センター・公民館・観光協会・図書館と、米作りイベント、灯り展、おはなし会等の共催、連携を図った。	連携を継続していく。	7～8
		周辺福祉施設との連携	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	里山体験館横への福祉車両の乗り入れ許可とともにバリアフリーマップの常設によりサポートを行った。	サポートを継続する。	10
		警察・消防との連携	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	継続実施	放置車両、行方不明者の搜索等、園内急病人の搬送等について連携した。	今後も迅速な連携対応を図っていく。	
14 提案以外の実施事項											